

# 横田基地の縮小・返還をめざして 議会で決議



平成18年第1回定例会は3月1日から17日まで、会期17日間で開催されました。今回は定例会では、平成18年度予算、「国民保護協議会条例」など、合わせて35件の町長提出議案と、「米軍再編の十分な情報提供と横田基地縮小、返還計画案の明示を求める決議」など2件の議員提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

## 町長が自衛隊との共同使用受け入れを議会で表明

2月11日の建国記念の日に、急ぎよ全員協議会を開催し、町長から横田基地の航空自衛隊との共同使用について概ね容認したい旨の表明がありました。町長は、「自衛隊との共同使用は世界平和と日本の安全を守る国策であり、耐え難いほどの大きな負担でない限りは国策に協力すべきである。また航空自衛隊の移駐により軍民共用化の動きを封じることができるとの考えを述べました。

この説明を受け、議員からは「基地の固定化につながるのではないか」「もう少し慎重に結論を出すべき」「苦渋の選択だが、やむを得ないのでは」「時宜を得た適切な判断である」などの様々な意見が出されました。

## 基地問題 議会の立場を表明

### 決議文を国へ提出

議会最終日に議員5名から、基地問題に関する決議案が提案され、全会一致で可決。決議文を外務大臣、防衛庁長官、防衛施設庁長官宛に提出しました。



全員協議会では議員から様々な意見が出された

### 米軍再編の十分な情報提供と横田基地縮小、返還計画案の明示を求める決議

瑞穂町は長い間、横田基地の存在により町の発展を阻害され、日夜を問わず飛行機騒音に悩まされている。

多摩飛行場の開設以来、戦後の基地拡大に国策として協力をし、関東統合計画にも協力をしてきた結果が現在の姿であり、公共交通機関や公共施設は、いまだ不十分なまま住民は耐えて今日に至っている。

私たち瑞穂町住民は、いつまでも基地があることを望んでいるわけではない。いつの日にか縮小、返還され、公園、学園、住宅、工場等が建設整備され、夢のある町づくりがかなうことを希求している。

この度の再編計画による部隊、司令部がどのような規模で、いつ、どこに建設、移駐され、町の将来にどう影響を及ぼすのか、町及び住民に対し、十分な情報提供を行うと共に、住民の願望である近い将来の基地縮小、返還に向けて明確な計画案を示すことを国に求める。

## 記者発表の内容に対し町長へ申入書を提出

基地対策特別委員会では、11日の全員協議会で町長の自衛隊受け入れ容認の説明は不十分である。また、13日に行われた町長の記者発表で、2月6日に府中基地を視察した基地対策特別委員会委員から「司令部のある府中基地は平穏だったとの報告を受けたことが決断の重要な理由である」との発言に対し、このような事実はなく、これは諸々の問題の責任を議会に任せようとするもので、断じて容認できるものではないとする申入書を町長に提出しました。

なお、この申入書を受け、町長からは言葉が足りず誤解を招く記事が掲載されたことを反省する旨のコメントが出されました。



町長に説明を求めた基地対策特別委員会

## 補正予算を可決

各会計別補正予算の状況

会 計 名	補 正 額	補 正 後 の 総 額
一 般 会 計	5,057万2,000円減	114億6,168万2,000円
国民健康保険特別会計	1億3,792万2,000円増	29億6,381万0,000円
駅西土地区画整理事業特別会計	1,546万6,000円減	8億6,571万2,000円
下水道事業特別会計	6,618万7,000円減	10億9,873万0,000円
老人保健医療特別会計	1億437万3,000円減	16億2,285万8,000円
介護保険特別会計	917万4,000円減	12億7,742万9,000円
石畑財産区特別会計	27万4,000円減	3億3,554万6,000円

### 補正予算のおもな内容

・庁舎改修工事費の追加	311万9,000円
・シルバーワークプラザ新築工事費の減額	3,030万3,000円
・各小中学校の自動体外式除細動器（AED）購入費の追加	284万5,000円